



『森の市』開催

11月3日(日) in 広島市森林公園
報告：佐藤謙治



盛況！3密に配慮しつつ森の大切さをアピール

今年の「森の市」はコロナ禍各種イベント自粛の中、森の大切さをアピールする「秋のグリーンフェア」に続くイベントでした。

クラフト部会としてこの1年、森の活用企画・部材の加工・森を活用する手法など、メンバーが毎週土曜日に集い準備してきました。参加される市民の皆様の楽しく創作される顔を思い浮かべてきた森の市開催。倶楽部スタッフメンバー15人はウキウキと集い会場準備し開催の時間を待ちました。9：00開催と同時に男の子の「トラック」よりスタート。最初は天候も関係してかぼちぼちの参加者でしたが、昼食が済んだぐらいより秋晴れとなり参加者も増え、箱庭、木



子供たちには、箱庭、木絵が人気

絵、半割椅子が多くスタッフもてんでご舞い、《距離・消毒確保》となる状況でした。お父さんお母さんは半割椅子・子供たちは箱庭、木絵が人気で、参加者は昨年129人、今年は155人でした。スタッフとして参加し、孫ぐらいの年齢の子供達への指導（先生気分）というか、小学校の先生の大変さと楽しさを感じました。もりメイトの活動一つである『森に親しみ森の恵みを活用し創造の楽しみ』を体感でき、この楽しさを多くの倶楽部員にも体感して頂きたく思いました。秋の夕方は日暮れも早く、ひんやりする夕日の中、今日一日の温かい思い出を胸に帰途につきました。